

San-iku 通信



社会福祉法人
賛育会

ご自由にお持ちください。

2014 AUTUMN

Vol. **03**

社会福祉法人 賛育会 広報誌
さんいく通信

News
特集

豊野事業所

もの忘れと認知症の違い
健康に楽しく ~おやつレシピ
賛育会ヒストリー ~第一章 第三話



特集



豊野事業所

地域の人々と共に歩み、およそ70年 医療と福祉のトータルコーディネーター

さまざまなサービスの連携によって老後の安心をお手伝いします。

長野県の北部に位置する長野市豊野町にて、1946（昭和21）年の豊野病院開設よりおよそ70年にわたり、地域の医療と福祉の中核を担ってきたのが、賛育会豊野事業所です。

戦災により東京での活動が難しくなった1945（昭和20）年6月に賛育会病院が北信濃の地（旧古間村）に診療所（1958年まで）を開き、地域の要請によって、豊野（旧神郷村）の伊豆毛神社の一角で診療を始めたのがこの事業所のはじまりです。

その後、時代にさきがけて事業を展開し続け、現在では豊野病院（療養型病床、外来）、老人保健施設ゆたかの、特別養護老人ホーム豊野清風園、ケアハウスりんごの里、グループホームさんいくの家の施設サービス事業と訪問看護ステーションとよの、豊野中央デイサービスセンター、ゆたかのデイケア、居宅介護支援事業所などの在宅サービス事業を有する高齢者介護の大型拠点と

して地域の医療と福祉の増進のために努力しています。専門的な経験を活かして、事業所内の複数のサービスが連携することによって地域の皆さんを様々な角度から支えることができるサービス体制がこの事業所の最大の特徴です。

2005（平成17）年に長野市に合併した旧豊野町は従来から複数の福祉施設を有し、医療福祉関係に従事する住民も多く、福祉に対する理解は厚く、住民自らが「福祉のまち」と呼んできた伝統があります。そのため、ボランティアや防災などで、多くの住民の協力によって賛育会の活動は支えられています。

事業所では地域の皆様のお役に立つために、事業所ぐるみで施設の枠を越えた活動を行っています。2008（平成20）年から始まった「健康講座」は13回を数え、事業所の持つ専門性を活かした内容で地域の皆様に親しまれています。

りんごの名産地、交通の要衝の町「豊野（長野市）」



長野駅から信越線以北に20分。古くからの農村で郊外のベッドタウンでもある豊野町は果樹栽培がさかんで、現在も多くの農家がリンゴやブドウを栽培しています。町内を貫く国道18号線の沿道にはリンゴの直売所が並び、アップルラインと呼ばれ、シーズンになると多くの観光客が立ち寄ります。信越線

と飯山線が分岐する豊野駅はかつてリンゴの積み出しでにぎわい、町内には鉄道や輸送関係の仕事に従事した方も多く住んでいます。現在ではローカル駅となってしまいましたが、近くには新幹線の車両基地があり、来春開業する北陸新幹線が走り抜けるなどこの地域の風景も変わりつつあります。

■インフォメーション
賛育会 豊野事業所

TEL:026-257-3001

長野県長野市豊野町豊野634

■Webサイト

<https://www.san-ikukai.or.jp/toyono/>

知っ得! ケア

もの忘れと認知症の違い

もの忘れ外来ってご存知ですか?

年齢を重ねるにつれて、「最近忘れっぽくなったな」ということは誰でも感じる事です。テレビに出ている俳優の名前を思い出せなかったり、台所に何を取りに行ったのか分からなくなったりすることは、決して珍しいことではありません。もの忘れは体験の一部を忘れていて、認知症は体験の全てを忘れていっていると言われています。例えば、もの忘れは孫がいることは覚えていますが、その学年を忘れていて、認知症は孫がいること自体を忘れています。

◆こんな症状が気になったら...

約束を忘れたり、ものを無くすことが増えた。人や物の名前が思い出せない。財布やクレジットカードなど大事なものを無くすようになった。など

◆ご家族や周りの方がこんな症状に気づいたら...

つい最近の事を忘れてしまう。同じ話を繰り返したり、何度も同じことを聞き返す。献立を立てられないなど、以前に比べ家事が思うように出来なくなった。薬の飲み忘れが多くなった。など

「もの忘れ」=「年相応」とは限りません。中にはよくなる「もの忘れ」もあります。いずれも早期発見・早期治療が重要です。「もの忘れ」が加齢に伴う自然のものなのか、あるいは病気による「もの忘れ」なのかを診断し治療する「もの忘れ外来」という外来があります。まずは、身近なかかりつけ医に相談してみましょう! 早期発見・早期治療に努めましょう!



Recipe

健康で
おいしい

おやつ
レシピ

混ぜて焼くだけ! 簡単おやつ にらせんべい

長野県北部で昔ながらのおやつといえば「にらせんべい」それぞれの家の味がある、長野の定番おやつです。

■材料(4~6人分)

にら..... 1束	砂糖..... 大さじ2
小麦粉... 100~150g(お好みで)	水..... 200CC
卵..... 2個	サラダ油.. 適宜
味噌..... 大さじ2	

■作り方

1. にらは2~3cmに切る。
2. 卵、味噌、砂糖、水をよく混ぜ、小麦粉を加え混ぜる。
3. 2. に、にらを入れて混ぜる。
4. フライパンにサラダ油をひき、中火で焼く。
5. 焼いたら切り分けて、出来上がり。

*小麦粉の量が少なめの方が、にらの食感を楽しめます!

(レシピ提供: 豊野病院栄養科 管理栄養士 小田祐美子)

賛育会ヒストリー

賛育会の歴史物語

第一章 賛育会の歴史

第三話

東京大空襲で賛育会すべての施設が全焼。

しかし、再建への情熱は燃え尽きませんでした。

1933年(昭和8年)3月、賛育会第3代理事長に藤田逸男が就任したころ、時代は世界第二次大戦を予感させる情勢でした。一方、賛育会は6つの施設を有し職員総数は144名と大きくなっていました。そして、さらに規模を拡大しているさなか、1941年12月8日、真珠湾攻撃によりついに開戦。全戦全勝と謳われた戦局も次第に苦戦へと変わり、軍人要員確保が急務となっていました。1944年5月、賛育会全体の舵取り役であった常務理事・丹羽昇が赤紙召集され出征。8月には賛育会石島病院副院長・竹岡秀策が出征。9月にはその後任者も出征するなど、次々と人材が軍隊に取り上げられていきました。そして1945年3月10日未明、B29爆撃機325機による焼夷弾の雨が東京下町23万戸を焼き尽くしたのです。死傷者は12万人。賛育会の施設もすべて焼失。が、幸い賛育会病院と錦糸病院

の患者を荒れ狂う炎の海から命からがら避難させることはできました。しかし、その後すぐさま被災者救護に立ち上がる気力は奪われ、ついに、空爆の2日後に焼けただれた賛育会病院の屋上で解散式を行い散り散りに。8月の広島と長崎への原爆投下で日本は無条件降伏。その秋から「りんごの歌」に人々は励まされ日本再建が始まります。しかし、理事長・藤田逸男も常務理事兼院長・河田茂もまだ暗闇の中にいました。その闇に希望の光を射す二人の男が戦地から帰還してきました。前記の丹羽昇と竹岡秀策が復員してきたのです。(つづく)



終戦後の賛育会病院(昭和23年ころ)



認知症サポーターになれませんか？ オレンジリングご存知ですか？

最近、このオレンジ色のリングを見たことはありませんか？ このオレンジ色のリングは、「認知症サポーター養成講座」を受けた人に「認知症サポーター」であることの「目印」として配布されているものです。認知症サポーターとは、認知症の事を正しく理解し、462万人いると言われる認知症の人やその家族を温かく見守る地域の応援者としての存在を目的にしています。しかし、認知症サポーターになったからといって、何かを特別に行なっていただくわけではありません。正しい知識を得た上で、自分のできる範囲で、できることをするというもので、活動内容は人それぞれになります。現在も各地で養成講座が開催されており、認知症サポーターは全国で500万人(平成26年6月30日時点)を突破しています。講座は受講料や教材費など無料で受講でき、全国共通のテキストやDVDを使い分かりやすく説明を受けることができます。興味や関心のある方は、お住まいの市区町村窓口や最寄りの地域包括支援センターまでお気軽にお問い合わせください。

参考URL：<http://www.caravanmate.com/index.html>



さんいく保育園清澄白河 (東京都江東区) みんなでスイカ割り！

8月1日に、子どもたちの大好きなスイカ割りをおこないました。今回は近隣にお住いの未就園児とご家族にもご参加いただき、とても賑やかなものとなりました。まずはスイカに関するクイズを通じて、みんなスイカ博士になりました。その後はお待ちかね、スイカ割りのスタート！お友だちや先生に応援されながら徐々にスイカに近づいていき、「せーの」の掛け声で思いきり棒を振り下ろしていた子どもたち。スイカに当たった子もそうでない子も、みんなで仲良くおいしそうにスイカを食べていました。



Hello! ホスピタル 賛育会病院

Vol.03

緩和ケア病棟のご案内

～ボランティア活動～

ハープと歌の祈りのケア「パストラル・ハープ」



緩和ケア病棟は、がんの終末期に出現する痛みなどのつらい身体症状や精神的な苦痛の緩和を行う病棟です。

2014年7月より、リラ・プレカリア(祈りのたて琴)

の佐野正子さんに週に1回、緩和ケア病棟にてハープと歌の祈りのケア「パストラル・ハープ」を行っていただいております。パストラル・ハープは、目の前にいるお一人おひとりに「あなたはそのままで価値のある大切な存在」だと伝えることを目的としています。患者さんの呼吸のテンポに合わせて、祈りに満ちたシンプルな曲と歌を繰り返し奏でることによって身体をリラックスさせ、心を落ち着かせ、しばしば眠りに導きます。パストラル・ハープは音楽療法ではなく、音楽による祈りを通じ、魂のケアを目指しています。

■看護師、医療相談員による「緩和ケア説明会」を開催しています。 お問い合わせ先 TEL:03-3622-9191

■パストラル・ハープ奏者 佐野さんの紹介

「訪問を受け入れて下さる患者さんご家族の方々から心から敬意を払い、かけがえのない命の一瞬一瞬を大切にしながら寄り添えるよう、努めていきたいと思っております。」

日本福音ルーテル社団 www.jela.or.jp

リラ・プレカリア事務局 お問い合わせ先TEL:03-3447-1521

**賛育会後援会
チャリティーコンサート
2014**
～地域に仕える医療・福祉の
総合センターを目指して～

2014年10月28日(火)

会場: すみだトリフォニーホール 大ホール
18:30開場/19:00開演 入場料:全席自由 2,000円

◆出演 ソプラノ:サイ・イエンガン(崔 岩光) パイプオルガン:水野 均 ヴァイオリン:伊藤 誠

◆演奏曲目 オッフエンバック:喜歌劇「天国と地獄」序曲 ガーシュウィン:歌劇「ポーギーとベス」よりサマータイム アイルランド民謡:「ロンドンデリーの歌」 カッチーニ:アヴェ・マリア ブッチーニ:「トゥーランドット」よりこの宮殿の中で 草川 信 夕焼けこやけ他

チケットお申し込みは、賛育会の各老人ホーム・病院、ホームページからご購入いただけます。詳細は下記webをご覧ください。
<https://www.san-ikukai.or.jp/txt/event.html>

San-iku通信 Vol.03 2014年 秋号

編集発行人:西原 良信

発行所:社会福祉法人 賛育会

東京都墨田区太平3-17-8 電話:03-3622-7614

印刷:(有)エースプリント

賛育会ホームページ <http://www.san-ikukai.or.jp/>